



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 タカキタ
 コード番号 6325 URL <https://www.takakita-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 充生
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部部長代理 (氏名) 川部 和史 TEL 0595-63-3111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,540	3.5	465	6.1	507	8.2	341	8.6
2022年3月期第3四半期	5,355	13.9	438	97.0	469	89.4	314	95.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	30.22	29.90
2022年3月期第3四半期	27.28	27.04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,156	6,862	74.3
2022年3月期	8,647	6,899	79.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期6,804百万円 2022年3月期6,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	5.00	—		
2023年3月期 (予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	2.5	400	△24.5	450	△24.2	300	△25.0	26.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	14,000,000株	2022年3月期	14,000,000株
2023年3月期3Q	2,906,217株	2022年3月期	2,506,217株
2023年3月期3Q	11,293,783株	2022年3月期3Q	11,523,289株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナのもとで景気は緩やかに持ち直しているものの、海外情勢によるエネルギーコストの上昇や物価高、供給面での制約等が続き、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような情勢のもと、農業機械事業におきましては、農家経営における肥料価格高騰等の影響による機械投資意欲の低下から、肥料散布機等の土づくり関連作業機の売上が減少したものの、国の畜産クラスター事業^{*}の採択が一定程度進み、高品質な国産飼料増産と食料自給率の向上に貢献する細断型シリーズを中心としたエサづくり関連作業機の売上が伸張したことに加え、除雪作業機の早期受注活動が当第3四半期の売上に寄与し、国内売上高は増収となりました。また、海外売上高につきましては、オンライン展示会の活用効果による新規市場（北米、中南米等）への売上や、合弁会社からのロイヤリティ収入により増収となり、農業機械事業全体の売上高は、前年同期比1億33百万円増加し51億92百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

軸受事業におきましては、得意先からの受注の回復もあり、売上高は前年同期比51百万円増加し3億47百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比1億85百万円増加し55億40百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

利益面におきましては、人件費の増加や資材高騰の影響がありますものの、ロイヤリティ収入による売上高の増加により、営業利益は前年同期比26百万円増加し4億65百万円（前年同期比6.1%増）、経常利益は前年同期比38百万円増加し5億7百万円（前年同期比8.2%増）、そして四半期純利益は前年同期比26百万円増加し3億41百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

* 畜産クラスター事業…政府による畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ5億9百万円増加し、91億56百万円となりました。これは主に電子記録債権が7億85百万円、商品及び製品が3億42百万円それぞれ増加し、現金及び預金が6億22百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ5億46百万円増加し、22億93百万円となりました。これは主に電子記録債務が5億98百万円増加し、未払法人税等が1億5百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ36百万円減少し、68億62百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億28百万円増加し、自己株式が2億1百万円増加、評価・換算差額等が71百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月11日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,204,439	582,348
受取手形及び売掛金	1,107,782	760,177
電子記録債権	1,137,763	1,923,264
商品及び製品	781,851	1,124,611
仕掛品	139,389	188,566
原材料及び貯蔵品	321,661	505,914
未収入金	365,848	684,876
その他	15,892	17,578
流動資産合計	5,074,629	5,787,338
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,010,610	971,205
機械及び装置(純額)	299,783	257,480
土地	559,638	559,638
その他(純額)	173,679	188,313
有形固定資産合計	2,043,713	1,976,636
無形固定資産	209,475	178,428
投資その他の資産		
投資有価証券	956,791	852,112
その他	363,577	362,806
貸倒引当金	△666	△576
投資その他の資産合計	1,319,702	1,214,342
固定資産合計	3,572,891	3,369,407
資産合計	8,647,520	9,156,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,026	369,992
電子記録債務	502,242	1,100,560
短期借入金	70,000	70,000
未払法人税等	151,283	45,355
賞与引当金	113,945	36,437
その他	309,529	426,090
流動負債合計	1,507,029	2,048,436
固定負債		
退職給付引当金	175,923	155,765
役員退職慰労引当金	4,100	4,100
その他	60,841	85,594
固定負債合計	240,866	245,460
負債合計	1,747,896	2,293,896

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,350,000	1,350,000
資本剰余金	832,196	832,196
利益剰余金	4,894,888	5,123,287
自己株式	△649,492	△850,692
株主資本合計	6,427,592	6,454,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	420,717	350,066
繰延ヘッジ損益	625	△371
評価・換算差額等合計	421,342	349,694
新株予約権	50,689	58,364
純資産合計	6,899,624	6,862,850
負債純資産合計	8,647,520	9,156,746

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,355,361	5,540,493
売上原価	3,644,569	3,744,972
売上総利益	1,710,792	1,795,520
販売費及び一般管理費	1,271,813	1,329,817
営業利益	438,978	465,703
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	11,454	21,573
不動産賃貸料	17,572	17,439
その他	7,525	7,590
営業外収益合計	36,555	46,605
営業外費用		
支払利息	186	174
不動産賃貸原価	3,681	3,824
リース解約損	2,000	—
その他	397	371
営業外費用合計	6,266	4,370
経常利益	469,268	507,938
特別利益		
固定資産売却益	542	649
特別利益合計	542	649
特別損失		
固定資産廃棄損	—	40
投資有価証券売却損	—	211
特別損失合計	—	252
税引前四半期純利益	469,810	508,336
法人税、住民税及び事業税	111,299	126,056
法人税等調整額	44,152	40,943
法人税等合計	155,451	167,000
四半期純利益	314,359	341,336

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年7月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式400,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が201,200千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が850,692千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	5,059,249	296,111	5,355,361	—	5,355,361
セグメント利益 又は損失(△)	433,436	△28,107	405,328	33,650	438,978

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	5,192,882	347,611	5,540,493	—	5,540,493
セグメント利益	427,549	1,403	428,953	36,750	465,703

(注) 1. セグメント利益の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。